事業部連載企画 8

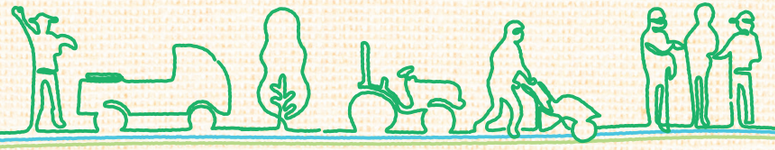
全農に密着

くらし支援事業部

主な事業内容
- 農産物直売所併設のAコープ店舗等の展開
- エーコープマーク品の開発や共同購入事業の展開
- 宅配事業、ライフライン支援事業、葬祭事業等の展開

女性部をはじめとする組合員の利便性向上を目指してスタートした「JAくらしの宅配便」。JAグループのプライベートブランド「エーコープマーク品」などの食料品や生活用品を、組合員をはじめとする会員の方々にお届けするJAの宅配サービスです。特に高齢化や過疎化が進む地域では買い物に行くことが難しい方々も多く、こうした課題を解決する役割にも期待が高まっています。くらし支援事業部に、組合員のくらしをより便利に、楽しくする「JAくらしの宅配便」の事業についてお聞きしました。

「JAくらしの宅配便」で豊かな生活を支援



宅配事業でくらしをもっと便利に

Q JAくらしの宅配便とは？

高井さん JAくらしの宅配便は、JAグループのプライベートブランド「エーコープマーク品」などの食料品や生活用品を、組合員をはじめとする会員の方々にお届けするJAの宅配サービスです。

もともとはJA女性部が隣近所の数人でつくる班単位で注文を取りまとめ、共同購入をしていただいていましたが、注文書を多くの班で順番に回覧するため、届くまでに時間がかかり、掲載できる商品数も限られていました。また、高齢化などによって班の継続が難しい地域や、近所の実店舗が閉店して気軽に買い物に行けない組合員の方も増えてきました。こうした状況を踏まえ、より便利に、さまざまな商品を手に取ってほしいとの思いで2010年から事業をスタートしました。

Q 注文できる商品や方法は？

竹川さん 安全・安心な国産原材料を使用した「エーコープマーク品」や、ニッポンエールや全農ブランド商品はもちろん、全国各地の特色ある商品も取り扱っています。今年度から全農の商品だけでなく、各県自慢のご当地素材を使った商品を選定してカタログに掲載したところ利用者に喜んでいただいており、さらに商品の販路拡大や認知度向上につながっています。

注文書をお近くのJAまでお持ちいただくか、パソコンやスマートフォンから注文が可能で、最短3日程度でご希望の場所までお届けします（ご利用には会員登録が必要です）。現在は247JAがサービスを利用し、登録会員数は約33万人を超えました。

Q サービスのメリットは？

高井さん 利用者にとっては安心・安全な商品が必要なときに届くこと、選択肢が多いことだと考えています。また商品は全農が在庫管理や発送作業を行うため、JAが在庫を抱える必要がなくなり、発送などの作業負担の解消にも役立っています。利用者の方からは「近くのお店が閉店して困っていたが、自宅から注文できて助かる」「早く届いて便利」などの声をいただいています。

Q 仕事のやりがいや今後の展望は？

竹川さん 利用者からの温かい声がうれしく、注文の度に毎回お電話をくださる方もいます。生活の助けになっているとの実感が大きなやりがいになっています。今後もお客さまに少しでも早く商品をお届けできるよう、欠品を起こさない在庫管理を心掛けてまいります。また、より多くの方に利用していただくため、さらにホームページの情報を充実させる予定です。

高井さん コロナ禍に前後して、インスタグラムやフェイスブックなどでの情報発信を強化しました。既存の利用者の方に新しい商品を手に取ってもらうだけでなく、新規利用者の獲得のためにも、商品の良さを広く伝えていきたいと考えています。

利用者の皆さまにお届けするカタログ

「JAくらしの宅配便」の人気商品

JA全農
くらし支援事業部
地域とくらしの支援課
竹川 紀子さん

「JAくらしの宅配便」の立ち上げから一貫して専門の職員として問い合わせ対応やホームページ管理、商品発注・在庫管理などを担当し事業を支えてきた。

JA全農
くらし支援事業部
地域とくらしの支援課
高井 優花さん

2012年入会。同課には2020年に配属され、主に商品カタログの作成やシステム対応、倉庫の在庫管理や事業所との調整などを担当。

JAくらしの宅配便の詳細、ご注文はこちら

次回は輸出対策部、「多様な販売チャネルで輸出拡大へ」8月24日（水）掲載予定（毎週水曜日掲載）